



学校だより 穂波平

令和7年度 第3号
富士宮市立富士宮第四中学校
静岡県富士宮市穂波町13-1
TEL26-2944/FAX22-1498

校訓
考える

学校教育目標 「志をもち、主体的に行動する生徒」

- 自ら学び、共に深め合う授業
- 自他の良さを認め、共に高め合う集団
- 自ら鍛え、共に磨き合う心と体
- 地域と共に生きる姿勢

1学期が始まって2か月が過ぎ、6月を迎えました。5月は「新緑」の季節と言いますが、6月はさらに緑が深まって「深緑」の季節になると言います。6月は、定期テストがあり、部活動の集大成となる大会やコンクール等が始まります。学習や部活動等、様々なことを深めていきましょう。

「良さを見つける 良さを伸ばす」 校長 佐藤 哲洋

5月には、1学期最大の行事である修学旅行、自然教室、穂波平セミナーがそれぞれの学年で行われました。皆さんはこの行事を通して貴重な体験ができたことと思います。

私は3年生の修学旅行に参加しました。私にとっては、3年生の良さを再発見することができた3日間でした。その良さを紹介します。

まずは、楽しく学ぶことができる集団であるということです。今年の修学旅行スローガン「楽学両道 京奈良で今しかできない思い出を」を行動で示してくれました。この経験を生かして、学校でも、新たに発見することや知識を身に付けることを楽しんで、学んでほしいと思います。

次に、礼儀正しく挨拶ができるということです。お世話になったホテルの皆さん、バスのガイドさんや運転手さん、添乗員さんたちに気持ちのよい挨拶ができ、はっきりとお礼を言える集団であると感じました。これは、日常生活で身に付けた力だと思います。

最後に、時間を守って行動できるということです。奈良・京都の見学地は、大変混み合っていたから、決められた時間内で行動できないと大きく計画が崩れてしまいます。さらに、交通渋滞等に巻き込まれると予定されたプログラムの実行が困難になってしまいます。そのような中、3年生が出発時刻を把握し、見学時間や食事の時間等を確実に守ってくれたおかげで計画通りにプログラムをこなせました。日頃から、登下校の時間や授業前の2分前着席、1分前黙想等、時間を意識して生活していることが行事でも生かされているのだと思いました。

1・2年生も、様々な活動を通して、個人としても、集団としても価値ある体験ができたことと思います。3年生になった時、修学旅行で適切な行動ができるようにしてほしいと思います。

さて、皆さんは、この学年行事で、集団の良さ、友だちの良さを見つけることができたと思います。良さを見つけることは、私たちの生活を豊かにするためにもとても重要なことです。私たちは、家族、地域、友だちなど、多くの人たちとの繋がりの中で生活しています。そこでは、よりよい人間関係や信頼関係が必要です。人は誰も欠点があれば、良いところもあります。欠点ばかりに目を向けていても、お互いにとってプラスになることは何一つありません。人の良さをたくさん見つけて認め合えれば、きっと快適で心豊かに生活できるはずです。私は、皆さんにはそんな生活ができるよりよい社会を創ってほしいと思っています。これからも自分の良さ、人の良さを見つけ、自分自身を伸ばしていきましょう。この行事を今後の生活に大いに生かしてください。

【令和7年6月2日 全校集会より】

3年生 修学旅行 奈良・京都方面

今年の修学旅行のスローガンは京都・奈良での研修先で楽しく学び、たくさんの思い出と共に最高の3日間にしよう!との思いから「楽学両道～京奈良で今しか(鹿)できない思い出を～」に決定しました。生徒は、修学旅行新聞作りや、タクシー班での研修先調べなどから京都・奈良の学習を重ね、実際に訪れた際には多くの世界遺産や国宝を肌で感じながら、仲間とじっくり見学していました。四中生としての振る舞いとは?集団行動の大切さとは?を常に意識し、各系の役割を果たしている姿を多くの場面で目にすることができました。

3日間の貴重な経験を通して、生徒は友だちを思いやり協力し合い、楽しく学ぶことができたのではないのでしょうか?これからの学校生活で、これらの経験が自身の成長と学びにつながり、四中をリードする立場として憧れの先輩になれるように期待しています。(担当:早稲田雅子)



2年生 自然教室 山梨県西湖

「西湖、最高、さあ行こう ～仲間と団結、見つけ合える3日間!～」のスローガンのもと、普段とは異なる環境の中で、学年やクラスの仲間と声を掛け合いながら無事行事を成功させることができました。また、炊飯、キャンプファイヤー、カヌー体験など様々な活動を通して、仲間の良さに目を向け、集団の中での自分の役割を果たすことの大切さに気づく3日間となりました。

中学校に入ってから初めての宿泊行事は、慣れないことばかりで、苦勞した生徒も多かったと思いますが、それ以上に得るものがあり、学びと楽しさを両立できたかと感じます。これからの学校生活でも自然教室で学んだことを活かし、生徒と一緒に充実した学校生活を送れるよう励んでいきます。

(担当:井出 快)



1年生 穂波平セミナー

今年の穂波平セミナーのスローガンは、「踏み出そう これまでの自分から ～一致団結 目指せ166人の防災マスター～」でした。実行委員たちは、各クラスで出たキーワードをもとに、「中学生として成長していく第一歩としたい」「全員で協力してこの行事を成功させたい」という願いを込め、スローガンを決定しました。

HUG体験やクロスロード、煙体験、消火訓練、起震車体験など様々な災害に関する学習をし、自然災害の脅威を改めて感じるとともに、命を守るために、何をすればよいかを考えました。3日間を通して、班員と協力して活動に取り組む姿や、耳だけでなく心も向けて人の話を「聴く」姿がたくさんみられました。そして、一人ひとりが係活動などの役割を全うし、輝いていました。このセミナーで得た経験と知識を、防災マスターとして今後の生活に生かしてほしいと思います。(担当:井口 遥)

